

炊事 生産活動

薪割り体験

16-5

1 活動のねらい

けがを心配して、薪割りを体験させないことが多いのですが、野外活動体験としてぜひ身につけておきたい力の一つです。そこで、けがのない安全なあなたの使い方を学びます。

2 育てたい能力

C3 野外技能・生活

※Aは心理的・社会的能力 Bは徳育的能力 Cは身体的能力 詳細は別紙参照

3 活動場所

- ・第一野外炊事場
- ・第二野外炊事場
- ・キャンプ場炊事場
- ・ピロティ
- ・工作館
- ・営火場

4 活動時期

4月～11月 ※冬期は工作館とピロティで実施可

5 所要時間

30分～1時間

6 指導形態

団体の引率者が指導者となって行う活動

7 準備物

【団体・個人で準備するもの】

- ・活動に適した服装
- ・軍手
- ・薪（食堂購入可 1束540円）

【自然の家で貸し出しできるもの】

- ・なた…10丁
- ・薪割り台

8 活動の手順

①人数確認、服装の点検、健康状態のチェックをします。



②活動のねらいや注意点を説明します。

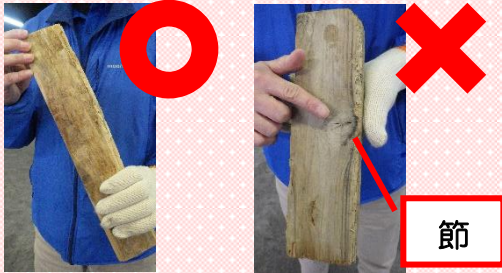
③用具を準備します。なたは事務室で貸し出します。薪割り台は活動場所にありません。



④なたを持つ手の軍手を外して、もう片方の手に重ねます。



⑤薪の束の中から節がないものを選びます。



⑥軍手をした手で薪を持って、台の上に立てます。



⑦なたを持って、薪の上に静かに置きます。※決して振り降ろしません。



⑧薪をおさえていた手を外します。



⑨別の太い薪で、なたの背をたたき、なたを薪に割り込ませます。
(誰かにやってもらってもよいです。)



⑩なたが薪に割り込んだら、叩くのをやめて、なたに薪がついたまま台の上に打ちつけます。(足になたが当たらないように真っ直ぐに降ろします。)



⑪ ⑤～⑩を繰り返し、細い薪を作り、野外炊事等に活用します。

⑫後片付けをします。事務室に活動終了の報告をし、借用物品を返却します。

9 留意点

- 活動に使用した道具は、責任をもって返却してください。
- なたの使用については、安全の徹底を図ってください。
- 使い終わったなたはケースに戻し、台の上に保管します。
- 焚きつけ用として使う場合には、太い薪を2本割れば十分です。